



作成日 2009/06/10

改訂日 2018/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 EV原液 (GHS)
 製品コード CE-F02-1340
 供給者の会社名称 宇部興産建材株式会社
 住所 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
 電話番号 03-5419-6206
 FAX番号 03-5419-6265

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類基準に該当しない

GHSラベル要素

注意書き 予防策

眼、皮膚、衣類に付けないこと。(P262)
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

対応

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

保管

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)

廃棄

取り扱った後、手を洗うこと。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
エチレン・酢酸ビニル共重合体	52～56%	不明	(6)-6	既存	非公開
酢酸ビニル	0.2～0.4%	CH ₂ =CHO COCH ₃	(2)-728	公表	108-05-4
水	44～48%	H ₂ O			7732-18-5

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び酢酸ビニル(法令指定番号:180)有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合
 水で数分間注意深く洗うこと。
 口をすすぐこと。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤
 水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤、ハロゲン化消火剤
 特有の消火方法
 このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れがないように水スプレーで周辺を冷却する。
 消火を行う者の保護
 消火作業は、可能な限り風上から行う。適切な保護具(保護服、保護手袋、保護眼鏡)及び適切な呼吸用保護具(送風マスク、自給式呼吸器)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
 環境に対する注意事項
 流路を毛布・土壌等を用いてせき止め、河川、湖沼への流出を防止する。
 封じ込め及び浄化の方法及び機材
 河川、湖沼へ流入した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・農協・漁協等に連絡を取る。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、ポンプで汲み取る。少量の液体の場合、バーミキュライト、砂、土等不燃材料に吸収させ、空容器に回収する。後で廃棄処理する。
 二次災害の防止策
 漏出した場所の周辺には、ロープを張り等の措置を行い、関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 取扱い後は、手、顔などを良く洗う。
保管	安全取扱注意事項 安全な保管条件	取扱い後は、うがい、洗眼、手洗いを励行する。直射日光、高温、多湿を避け、換気の良い場所に保管する。 保管時の温度は5℃以下あるいは40℃以上とならないようにする。
	安全な容器包装材	最初の容器内でのみ保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酢酸ビニル	未設定	未設定	TWA: 10ppm、STEL: 15ppm

設備対策 保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具	取扱いは換気の良い場所で行う。 防塵マスク、簡易防塵マスク。 保護手袋(ゴム手袋) 保護眼鏡
-------------	---------------------------	---

皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態
形状
色

液体
液体
乳白色
微臭
データなし
4-6(水で50%希釈)
融点:約0°C
沸点:約100°C

臭い

臭いのしきい(閾)値

pH

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

引火点

蒸発速度

燃焼性(固体、気体)

燃焼又は爆発範囲

下限
上限

データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
約1.1g/cm³
水に可溶
データなし
データなし
データなし
1000mPa·s
データなし

蒸気圧

蒸気密度

比重(密度)

溶解度

n-オクタノール／水分配

係数

自然発火温度

分解温度

粘度(粘性率)

動粘性率

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

危険有害な分解生成物

知見なし。
一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。
知見なし。
凍結させないこと。
知見なし。

11. 有害性情報

酢酸ビニルとして

急性毒性(経口)

急性毒性(経皮)

急性毒性(吸入:蒸気)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

性

眼に対する重篤な損傷性

又は眼刺激性

呼吸器感受性

皮膚感受性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

ラットLD50=2,900 mg/kg
ウサギLD50=2,335 mg/kg
ラットLC50(4時間)=11.4mg/L (3,184 ppm に相当)
軽度の刺激性(ウサギ)

強度の刺激性(ウサギ)

皮膚感受性あり(モルモット)
皮膚感受性あり(モルモット)
in vivo小核試験:陰性
in vivo小核試験、染色体異常試験:で陽性
ACGIH:A3、IARC:Group 2B
ラット及びマウスの生殖毒性試験、催奇形性試験において、生殖毒性がないか、毒性学的な意義が少ない、または最小限な影響のみ誘発する結果が得られている。
ヒトにおいて呼吸器に対する刺激性が認められている。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

<p>特定標的臓器毒性(反復ばく露)</p>	<p>ヒトにおいて上気道の炎症との記載、実験動物において肺炎と鼻炎、鼻腔嗅上皮の萎縮、粘液分泌腺の萎縮、鼻腔嗅上皮の扁平上皮化生と萎縮、基底細胞の過形成が報告されている。</p>
<p>12. 環境影響情報 酢酸ビニルとして 水生環境有害性(急性) 水生環境有害性(長期間)</p>	<p>魚類(ヒメダカ)96時間LC50=2.39mg/L 急速分解性があり、かつ生物蓄積性が低いと推定される(log Kow=0.73)。</p>
<p>13. 廃棄上の注意 残余廃棄物</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p>
<p>汚染容器及び包装</p>	
<p>14. 輸送上の注意 国際規制</p>	<p>海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code</p> <p>該当しない Not applicable Not applicable</p>
<p>国内規制</p>	<p>航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質 航空規制情報</p> <p>該当しない 該当しない 該当しない 非該当 非該当 該当しない</p>
<p>15. 適用法令 化審法 労働安全衛生法</p>	<p>優先評価化学物質(法第2条第5項) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)</p>
<p>消防法 大気汚染防止法</p>	<p>非危険物 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申) 揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)</p>
<p>海洋汚染防止法</p>	<p>危険物(施行令別表第1の4) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)</p>
<p>外国為替及び外国貿易法 特定有害廃棄物輸出入 規制法(バーゼル法)</p>	<p>輸出貿易管理令別表第1の16の項 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)</p>

16. その他の情報
記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常を取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。